

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア大船教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2025年10月20日（月）
自己評価総括の担当者	林真帆、遠藤翼

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年7月18日(金) - 8月28日(木)	52	50
従業員評価	2025年7月18日(金) - 8月28日(木)	5	8

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること
※より強化・充実を図ることが期待されること

- ・活動中はお子さまに対して前向きな関わりを心がけており、お子さまが楽しく通所してくださっている。
- ・個別支援計画に沿った支援を提供していることから「成長を感じる」と答えてくださっている保護者の方が多い。
- ・指導員間での情報共有が十分になされており、安心して通える環境作りに取り組むことができている。

事業所の弱み（※）だと思われること
※事業所の課題や改善が必要だと思われること

- ・イベントや異動の告知についてはチラシを貼り出しているが、「知らなかった」とお話をいただくことも多い。
- ・複数指導時のフィードバックでは順番に実施をしているため、事務連絡も含めると待ち時間が長くなってしまう。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等

- ・お子さまや保護者さまのご様子を口頭や会議録に記載し、指導員間での逐一の情報共有に取り組んでいる。
- ・支援の中で対応が難しい場面があった際には、終礼時やケース検討会議を通して指導員間で話し合いの場を設け、対応方法について検討し実践している。

事業所として考えている課題の要因等

- ・イベントの告知については貼り出しのみでお声がけをしないこともあったため、気づかない方もいた。
- ・フィードバックの順番の決め方は指導員によって異なるため、毎回同じ人の待ち時間が長くなってしまう場合がある。
- ・フィードバック時に事務連絡も合わせて行くと、時間が長くなってしまふ。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

- ・引き続き指導員間での情報共有を行いながら、お子さまが安心して通える環境作りに取り組んでいく。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

- ・イベントの告知については貼り出しのほかに、来所時にお声がけをする、LINEで周知するなど知ってもらいやすい方法でお伝えしていく。
- ・事務連絡については指導前や指導裏で対応できるように心がける。